

ここにくれば ものづくりの 楽しさがわかる

六月二十六日、札幌芸術の森で行われた「芸森アートマーケット」には、ものづくりが大好きな市民アーティストが大集合。カップや皿、木のおもちゃ、ビーズアクセサリ、染物、絵画など、手作りであれば何でもあり！

出店者は、学生や主婦、会社を退職した人などさまざま。自慢の作品を持ち寄った青空市。

手芸が趣味の菅谷良子^{すがやりよこ}さん。店先には、一つ一つ手縫いで仕上げた動物のぬいぐるみや布製バッグなど、カラフルな小物があふれています。手芸店で布地を見るとわくわくするという菅谷さんは、「手芸は友人がやっているのを見て、六年ほど前に始めました。自



●菅谷さんのかわいらしい作品は子どもにも大人気



分の作品をいろんな人が手に取って見て楽しんでくれるのがとてもうれしくて、作って良かったなと思うんです」。

お客さんとおしゃべりしながら作品を売っている菅谷さんは、とても生き生きとしています。

土の質感が残る湯飲み茶碗や動物の置き物などを並べていた渋谷明^{しよばあきら}さんは、陶芸を始めて十五年。会社を退職し、新しく何かをやってみようと、芸術の森の陶芸教室に通い始めたのがきっかけ。現在は自



●アイデアいっぱい、渋谷さんの作品



宅に「工房明^{めい}」を構えています。

「土をこね、自分の思うがまま、好きなものを好きなように作る。想像力も働きます。これが作ることの面白さなんですよ」。

専門学校を卒業し、木工家具を作っている及川恒平^{わがわこうへい}さんは、柔らかいグリーンの色使いが特徴の飾り棚や、葉をモチーフにしたテーブルなどを出品しています。

「自分の作品をみんなに認めてもらい、これからもずっと

と作り続けていきたいです」。趣味でやる人も将来の夢がある人も、作る自分がとにかく一番楽しい、という気持ちには皆同じ。既製品にはない手作りの魅力いっぱいのマーケット、一度のぞいてみませんか。



●及川さんの作品は木のぬくもりが感じられます

芸森アートマーケット

日時 8月21日(日)、28日(日)
9月11日(日)、23日(祝)
午前10時～午後4時

詳細 芸術の森アートマーケット事務局
(芸術の森2丁目75番地 ☎592-4125)

